

三浦綾子 原作 山田火砂子 監督

# われ弱ければ

## 矢嶋楫子伝

使命とは、  
命を使うことです。  
自分の命は、  
自分で使うのです。



常盤貴子

石黒賢 渡辺いっけい 渡辺大 森三中 渡辺梓 星田英利 竹下景子

キャロリン愛子ホーランド 藤吉久美子 森岡龍 駒井蓮 小倉一郎 堀内正美 赤塚真人

磯村みどり 松木路子 露のききょう 神田さち子 キコ・ウィルソン 長谷川かづき 木村理恵 大原ますみ 後藤佑里奈 上野神楽 ジョニ・トマス

栗原小巻 (三浦綾子の声)

脚本:坂田俊子、山田火砂子、来咲一洋 音楽:朱花 撮影:高間賢治 照明:上保正道 録音:光地拓郎 美術:高津装飾美術 美粧:小堺なな プロデューサー:上野有

製作:株式会社 現代ふろだくしょん



# われ弱ければ 矢嶋楯子伝

女性蔑視がなくなる日本で  
今、私たちに伝えるもの  
江戸後期から大正まで生き抜き  
一途に女性の地位向上を  
目指した生涯



## 現代の女性たちへの力強いメッセージ

天保に生まれ、明治・大正に生きた女性解放運動の先駆者矢嶋楯子は、女子学院やキリスト教矯風会を創立し、一夫一婦制、婦人参政権、禁酒、廃娼運動、アメリカでの軍縮会議など多くの足跡を残す。

この作品は、女性が一人の人間として尊重されることのなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に生涯をささげた矢嶋楯子の一生を、現代を生きる女性たちに贈る力強いメッセージです。



1833年、洗濯のたらいも男女で分けるなど、男尊女卑の社会の中、現在の熊本県に矢嶋楯子は生まれました。25歳の時に結婚した武士の夫は酒乱で、赤ん坊をかばって逃げる楯子に小刀を投げつけるなど、家族への度重なる乱暴に身の危険を感じた楯子は、末の子供を連れて家出し、離縁状をたたきつけます。離縁後、上京して、小学校教員になった楯子は、ミセス・ツルーというアメリカ人宣教師から、女学校の校長の仕事すすめられ、現在もある女子学院の院長となります。数多くの活動にかかわり、90歳のときには、アメリカで世界平和を強く訴えました。

## 監督・ゼネラルプロデューサー 山田火砂子 (90歳)

東京生まれ。戦後女性バンド「ウエスタン・ローズ」で活躍後、舞台女優を経て、夫の山田典吾監督作品「実写版はだしのゲン」「裸の大将放浪記」などをプロデューサーとして支える。「エンジェルがとんだ日」を初監督後、「石井のお父さんありがとう」「母 小林多喜二の母の物語」などを監督。



## 原作 三浦綾子

1922(大正11)年、北海道旭川生まれ。17歳から7年間、小学校教師として軍国教育に献身した為、戦後に罪悪感と絶望を抱いて退職。その後、結核で13年間の闘病中に、キリスト教に出会い、洗礼を受ける。1964年、朝日新聞の懸賞小説に「氷点」で入選し、作家生活に入る。「塩狩峠」「銃口」「道ありき」など数多くの小説・エッセイを発表。



## 秋田上映会

とき 8月26日(金) ①14:00~②18:30~  
ところ 秋田市文化会館小ホール (☎018-865-1191)  
作品 映画「われ弱ければ 矢嶋楯子伝」  
料金 前売一般 1000円(当日 1300円)  
(中高生は、当日のみ500円)  
主催 映画「われ弱ければ 矢嶋楯子伝」を上映する会  
実行委員長 寺田洋子  
事務局 ☎・FAX 018-862-9978(秋田県映画センター内)  
Mail:akitakeneigacenter@ab.auone-net.jp



## プレイガイド

caoca 広場(トピコ)/カワイ楽器/秋田県庁売店/加賀谷書店茨島店・東通店/秋田自然食品センター(山王)/みどりさわやか薬局(川尻)/さわやか薬局新屋店(新屋)/しんちょう堂(外旭川)/細川レコード店(土崎)/藤原商店(追分)

予約

電話・FAX・E-mailで予約すると前売料金で入場できます。

〈後援〉・秋田県看護協会・秋田県社会福祉協議会・秋田市社会福祉協議会・秋田県地域婦人団体連絡協議会  
・秋田県更生保護女性連盟・秋田県老人クラブ連合会・社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会・秋田県身体障害児者サポート協会・秋田魁新報社・朝日新聞秋田総局・毎日新聞秋田支局・読売新聞秋田支局・河北新報社秋田総局・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・エフエム秋田  
〈申請中〉・秋田県医師会・秋田県薬剤師会